

The reality of HPV vaccine sufferers

被害実態報告

2015年11月23日

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

事務局長 池田としえ

Toshie Ikeda, The Secretary General

All Japan Coordinating Association of HPV
Vaccine Sufferers

All Japan Coordinating Association of HPV Vaccine Sufferers



全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

2013年3月25日設立 Established at March 25 in 2013

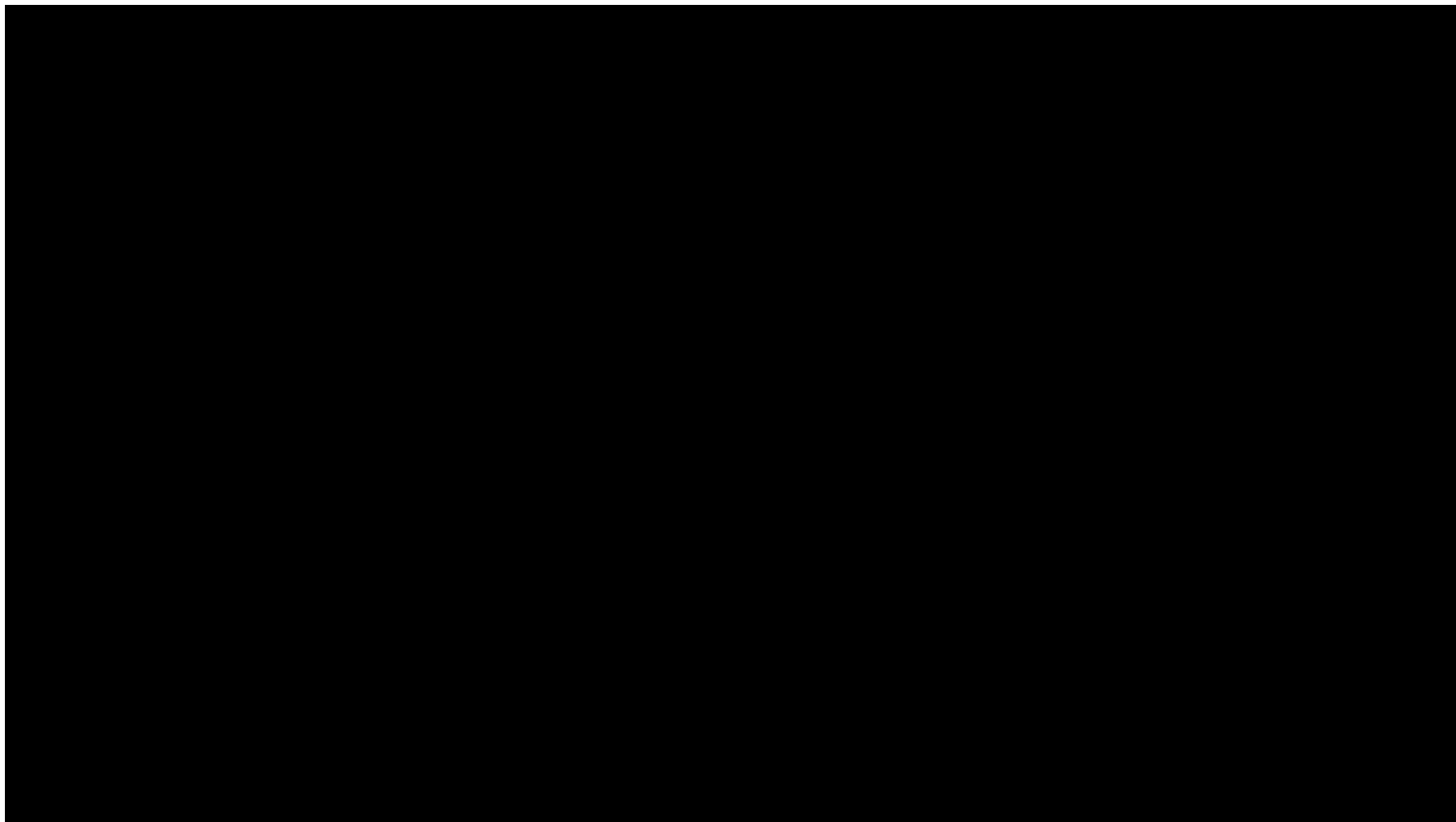
相談件数: 約2100件 Cumulative number of requests for consultation: 2,100

登録人数: 465人 Number of Registered sufferers: 465

※2015年11月23日現在 as of November 23, 2015

シンポジウム 「子宮頸がんワクチン」問題を考える

Victim video



Statistics; Hino city (Population: 180,000)

Age	≤59	≥60
Number of death from Uterine Neoplasms	0	7

①東京都南多摩保健所事業概要 2010年版

<日野市統計データ拡大版> 18万人中

表1-3 主要死因別死亡数 (簡単分類) [日野市] P10

死因 \ 年齢	～59歳	60歳～
子宮の悪性新生物	0人	7人

参照「事業概要 平成24年版」『東京都南多摩保健所』、

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/minamitama/jigyou/24gaiyo.html>

Cervical cancer mortality is less than one young girl for every one hundred.

☆若年層に、全国でもほとんど死亡者がいません 1%もないのが現状です↓

②『平成21年人口動態統計』下巻 (2009年)

<全国人口動態統計データ拡大版>

全国死亡者数
2519名

厚生労働省大臣官房統計情報部編

死因 \ 年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
子宮頸の悪性新生物 (人数)	0	24	166	347	451	481

●2013年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓

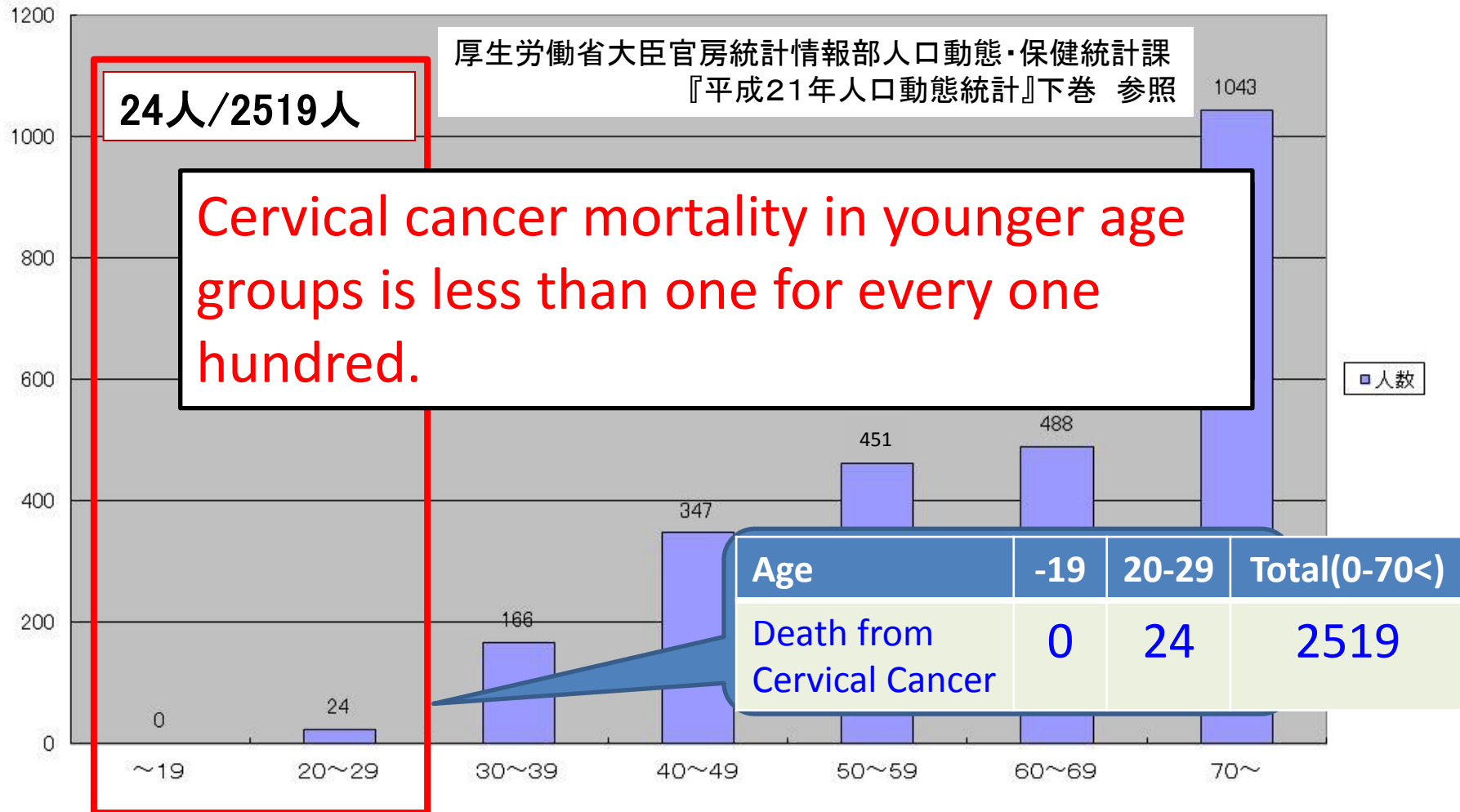
2015 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター

National Statistics; Japan

Age	20-29	30-39
Death from Cervical Cancer	24	166

Quoted from 'Vital statistics of Japan 2009'

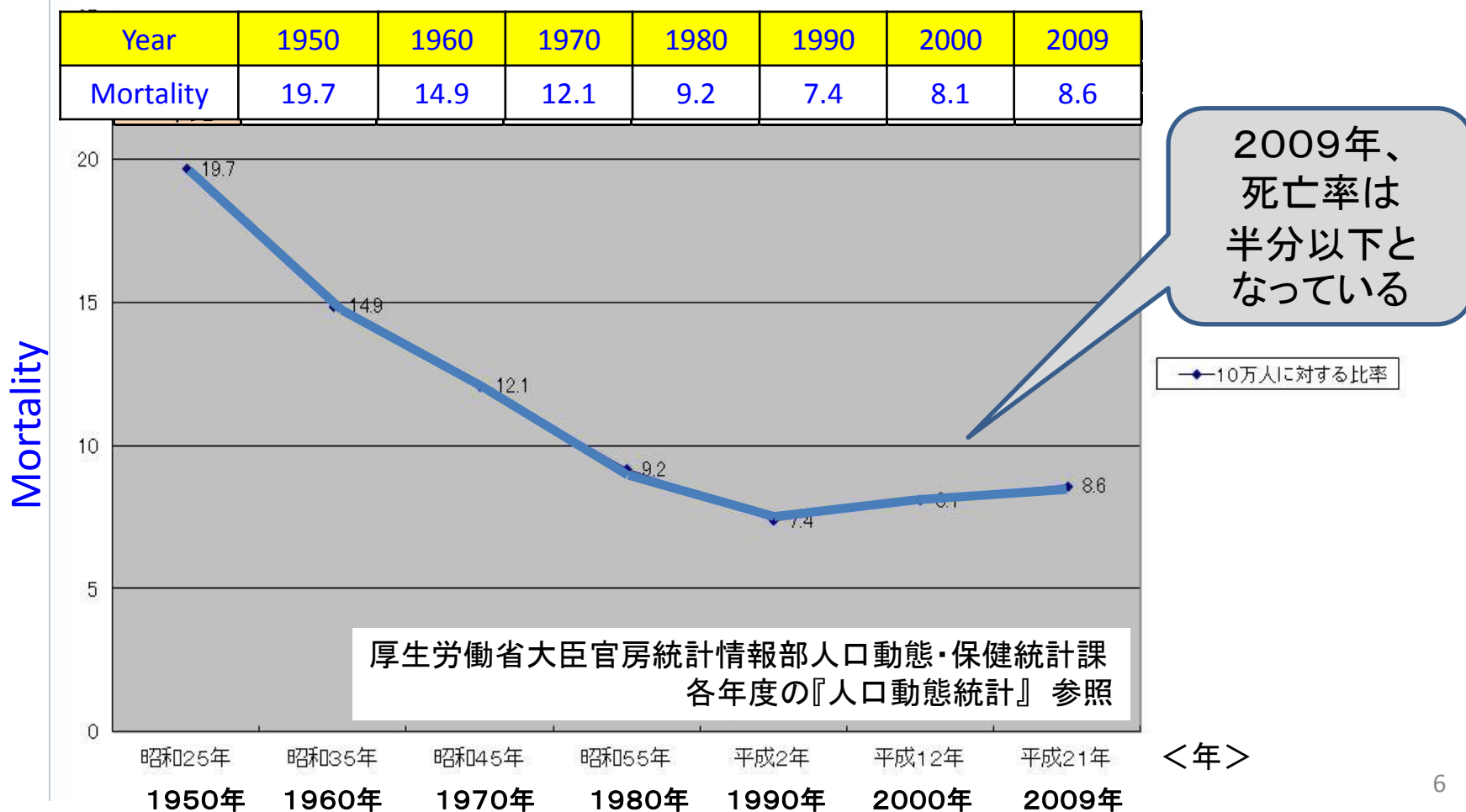
厚生労働省が2009年に実施した人口動態統計より数値を引用
年代別子宮頸がんによる死亡者数を図表化



Quoted from 'Vital statistics of Japan 2009'

厚生労働省が例年実施している人口動態統計より数値を引用
子宮がんによる死亡者数を年代別に図表化

Number of death from Uterine Neoplasms (per 100,000 person)



Insufficient Information about the Risk of HPV vaccine

Benefits are exaggerated, and risks are underestimated

政府のリスク説明は十分なのか？

厚生労働省発行

リーフレット「子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ(2013年6月版)」

子宮頸がんの約半分は、ワクチン接種によって予防できることが期待されています

ワクチンには、ヒトパピローマウイルスで免疫を作ることができ、HPVの子宮頸がん予防ワクチンの接種は、接種することで得られるメリットとリスクを理解した上で、ご判断ください。

About half cases of Cervical Cancer will be preventable by HPV vaccine.

子宮頸がんは、乳がんに次いで、若い女性に2番目に多いがんです
子宮頸がんは、女性の子宮の入り口部分(子宮頸部)にできる「がん」です。

※図については、以下のとおりです。

子宮頸がん However, in a promotional leaflet by health authorities, there's a contradictory comment in small print as follows;

子宮頸がん予防ワクチン
多くの先進国では公的

子宮頸がん予防ワクチン
型のヒトパピローマウ

"Since HPV vaccine is a newly approved vaccine, its true prophylactic effect has not been proven as yet"

HPV vaccine is recommended by WHO. In many developed countries, HPV vaccine is provided as a public service in a regular vaccination programme

予防効果が期待されています。

に感染し、後に起こるとされています。
子宮頸がんそのものを予防する効果はまだ証明されていません。

Case of Poor Outcome
or Unknown Outcome

Case of Full or
Moderate Recovery

List of ADR report of HPV vaccine
submitted from Pharmaceutical Companies

製造販売業者からの報告

(Sept. 1, 2012 ~ Dec. 31, 2012)

No.	Age	Sex	Date of Inocul.	Cervalex/Gardasil	Lot No.	Underlying Illness	Symptom	Onset of ADR	Seve- rity	転帰日	Out- come
1	20	女	平成22年11月29日	サーバリックス			悪寒、紅斑、熱感、発熱、貧血	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月5日	未回復
2	10	女	平成23年8月7日	サーバリックス	AHPVA138AC		関節炎、関節痛、発熱	平成23年12月	重篤		未回復
3		女	平成23年9月	サーバリックス			肺炎		重篤		不明
4	10	女	平成24年5月23日	サーバリックス	AHPVA162CA		マイコプラズマ性肺炎、関節炎、関節痛、発熱、歩行障害	平成24年6月28日	重篤	平成24年9月7日	不明
5	10	女	平成24年6月19日	サーバリックス	AHPVA162CA		視神経乳頭血管炎、視力低下	平成24年6月	重篤		不明
6	10	女	平成24年6月29日	サーバリックス	AHPVA162CA	食物アレルギー、乳アレルギー	感覚鈍麻、局所腫脹、筋力低下、注射による四肢の運動低下	平成24年6月29日	重篤		不明
7	10	女	平成24年7月4日	サーバリックス	AHPVA162CA	薬物過敏症、食物アレルギー	発声障害、喉頭浮腫	平成24年7月10日	重篤	平成24年7月16日	回復
8	10	女	平成24年8月	サーバリックス			紫斑、血小板数減少、出血	平成24年	重篤	平成24年12月7日	軽快
9	10	女	平成24年8月2日	サーバリックス	AHPVA162DA	血管腫	血管腫、疼痛	平成24年8月4日	重篤	平成24年8月7日	不明
10	10	女	平成24年8月7日	サーバリックス	AHPVA162DA		ショック、悪心、意識レベルの低下、意識消失、異常感、失神、転倒	平成24年8月7日	重篤	平成24年8月7日	不明
11	10	女	平成24年8月14日	サーバリックス	AHPVA162CA		意識レベルの低下、蒼白、注射部位疼痛、失神寸前の状態、冷汗	平成24年8月14日	重篤	平成24年8月14日	不明
12	10	女	平成24年8月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		自殺企図、腹痛	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月4日	不明
13	10	女	平成24年8月30日	サーバリックス	AHPVA162DA		ショック、チアノーゼ、意識消失、異常感、筋骨痛、血圧低下、呼吸困難、蒼白、息詰まり感、頻呼吸、嘔吐	平成24年8月30日	重篤	平成24年8月30日	不明
14	10	女	平成24年8月31日	サーバリックス			失神寸前の状態、浮動性めまい、疼痛	平成24年8月31日	重篤	平成24年8月31日	不明
15	10	女	平成24年8月31日	サーバリックス			意識消失、健忘、血圧低下、転倒	平成24年8月31日	重篤	平成24年8月31日	不明
16	10	女	平成24年9月5日	サーバリックス	AHPVA162DA		運動障害、筋肉痛、注射による四肢の運動低下、注射部位疼痛	平成24年9月5日	重篤	平成24年10月10日	回復
17	10	女	平成24年9月15日	サーバリックス			発熱、嘔吐、マイコプラズマ感染	平成24年9月18日	重篤		不明
18	10	女	平成24年9月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		コリン作動性症候群、意識消失	平成24年9月27日	重篤	平成24年9月27日	不明
19	10	女	平成24年9月29日	サーバリックス	AHPVA162DA		異常感、筋肉痛、食欲減退(N)、蒼白、注射による四肢の運動低下、発熱、無力症	平成24年9月29日	重篤	平成24年10月5日	未回復
20	10	女	平成24年10月6日	サーバリックス	AHPVA162DA		血圧低下、蒼白、ショック	平成24年10月6日	重篤	平成24年10月6日	回復
21	10	女	平成24年10月11日	サーバリックス			痙攣、歩行障害、倦怠感、筋力低下、ギラン・バレー位候群、単麻痺、運動障害	平成24年10月14日	重篤		不明
22	10	女	平成24年10月13日	サーバリックス	AHPVA162DA	異常感	挫傷、転倒	平成24年10月13日	重篤		不明
23	10	女	平成24年10月16日	サーバリックス	AHPVA162AA		失神、不整脈	平成24年10月16日	重篤	平成24年10月16日	不明
24	10	女	平成24年10月26日	サーバリックス	AHPVA164AA		意識消失、失神、転倒、蒼白	平成24年10月26日	重篤	平成24年10月26日	不明
25	10	女	平成24年10月29日	サーバリックス			悪心、嘔吐、頭痛、発熱、倦怠感、蒼白	平成24年10月29日	重篤	平成24年10月31日	回復
26	10	女	平成24年11月1日	サーバリックス	AHPVA162DA		蕁麻疹、呼吸困難、過敏症、顔面腫脹	平成24年11月3日	重篤		未回復

List of ADR report of HPV vaccine submitted from Pharmaceutical Companies (Sept. 1 ~ Dec. 31, 2012)

製造販売業者からの報告

No.	Age	Sex	Date of Inocul.	Cervarix/ Gardasil	Lot No.	Underlying Illness	Symptom	Onset of ADR	Sever-ity	転帰日	Out-come								
1	20	女	平成22年11月29日	サーバリックス			悪寒、紅斑、熱感、発熱、貧血	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月5日	未回復								
2	10	女	平成23年8月7日	サーバリックス	AHPVA138AC		関節炎、関節痛、発熱	平成23年12月	重篤		未回復								
3		女	平成23年9月	サーバリックス			肺炎		重篤		不明								
4	10	女	平成24年5月23日	サーバリックス	AHPVA162CA		マイコプラズマ性肺炎、関節炎、関節痛、発熱、歩行障害	平成24年6月28日	重篤	平成24年9月7日	不明								
5	10	女	平成24年6月19日	サーバリックス	AHPVA162CA		視神経乳頭血管炎、視力低下	平成24年6月	重篤		不明								
6	10	女	平成24年	Suicide attempt, Abdominal Pain									不明						
7	10	女	平成24年										平成24年7月16日	回復					
8	10	女	平成24年8月	サーバリックス			紫斑、血小板数減少、出血	平成24年	重篤	平成24年12月7日	軽快								
9	10	女	平成24年8月2日	サーバリックス	AHPVA162DA	血管腫	血管腫、疼痛	平成24年8月4日	重篤	平成24年8月7日	不明								
10	10	女	Guillain-Barre Syndr., Speech Disturbance																
11	10	女																	
12	10	女	平成24年8月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		自殺企図、腹痛	平成24年9月4日	重篤	平成24年9月4日	不明								
13	10	女	平成24年8月30日	サーバリックス	AHPVA162DA		ショック、チアノーゼ、意識消失、異物感、筋骨格痛、血圧低下、呼吸困難、蒼白、息詰まり感、頻呼吸、頻脈、嘔吐	平成24年8月30日	重篤	平成24年8月30日	不明								
14	10	女	平成24年8月31日	サーバリックス			生体計測の異常、呼吸機の不調、疼痛	平成24年8月31日	重篤	平成24年8月31日	不明								
15	10	女	Encephalopathy, Gait disturbance, Fatigue									不明							
16	10	女																	不明
17	10	女																	不明
18	10	女	平成24年9月27日	サーバリックス	AHPVA162DA		コリン作動性症候群、意識消失	平成24年9月27日	重篤	平成24年9月27日	不明								
19	10	女	平成24年9月29日	サーバリックス	AHPVA162DA		異常感、筋肉痛、食欲減退(N)、蒼白、注射による四肢の運動低下、発熱、無力症	平成24年9月29日	重篤	平成24年10月5日	未回復								
20	10	女	Weakness, Monoplegia, Motor Disorder									回復							
21	10	女																	不明
22	10	女									不明								
23	10	女	平成24年10月16日	サーバリックス	AHPVA162AA		失神、不整脈	平成24年10月16日	重篤	平成24年10月16日	不明								
24	10	女	平成24年10月26日	サーバリックス	AHPVA164AA		意識消失、失神、転倒、蒼白	平成24年10月26日	重篤	平成24年10月26日	不明								
25	10	女	平成24年10月29日	サーバリックス			悪心、嘔吐、頭痛、発熱、倦怠感、蒼白	平成24年10月29日	重篤	平成24年10月31日	回復								
26	10	女	Visual disturbance, Loss of Vision, Epilepsy									回復							
27		女																	不明
28	不明	女																	不明
29		女																	不明
30		女		サーバリックス			関節周囲炎、関節痛、注射による四肢の運動低下	平成24年1月	重篤		未回復								

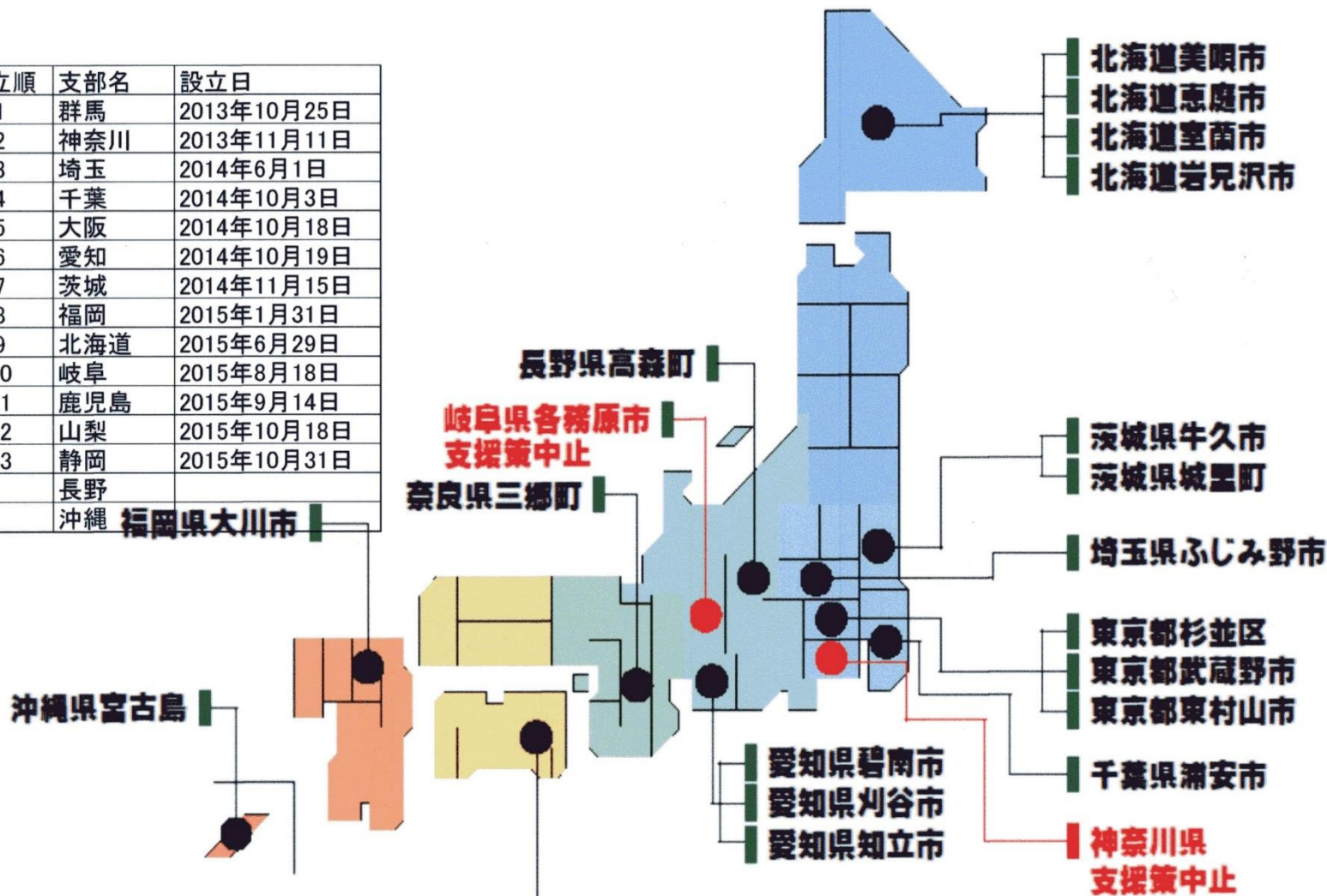
※同時接種ワクチンとして記載のある報告についても、接種部位の局所反応等関連が否定されないものを除き集計している。

(MedDRA/J Version(15.1))

Amid growing fear of HPV vaccine, solidarity bodies for the victims were set up in many parts of the country, and various support measures were implemented by the local government.

子宮頸がんワクチン問題、広がる自治体の独自支援

設立順	支部名	設立日
1	群馬	2013年10月25日
2	神奈川	2013年11月11日
3	埼玉	2014年6月1日
4	千葉	2014年10月3日
5	大阪	2014年10月18日
6	愛知	2014年10月19日
7	茨城	2014年11月15日
8	福岡	2015年1月31日
9	北海道	2015年6月29日
10	岐阜	2015年8月18日
11	鹿児島	2015年9月14日
12	山梨	2015年10月18日
13	静岡	2015年10月31日
	長野	
	沖縄	



Consultation services were provided to support school life for the HPV vaccine injured girls

子宮頸がんワクチン
学校生活の相談窓口 設置へ



Q: Present Situation

It is two and half years since “All Japan Coordinating Association of HPV Vaccine Sufferers ” was founded in March, 2013. Since then, the number of victims has been increasing, along with those of new members and consultations. The total number of consultations reached over 2000 and we have more than 460 registrants now. The distribution of our registrants extends over the 47 prefectures in Japan: Tokyo-to, Hokkaido, Osaka and Kyoto-fu, and 43 kens, the 13 of which have the official branches of our committee, and other 5 of which have their informal organizations. Though it is unfortunate that the size of our committee has increased at such a fast pace in only two and half years, and is increasing now, too, these facts exactly indicate the serious damage of HPV vaccine.

Q: Evaluation of Response of the Government in Two and Half Years

Damage from HPV vaccine has been reported all over the world. But in most countries, victims have been neglected because of “the stamp of approval by WHO.” In Japan, however, the government temporarily stopped the positive promotion of vaccination against cervical cancer and started a fact-finding survey on this issue. Our government gave careful attention to voices of the victims, though it had taken a rather long time to carry out it. This summer, we proposed the governmental officials of the Ministry of Health, Labour and Welfare(MHLW) to have an opportunity to report the real conditions of the damaged families and had a meeting with them. The officials were able to understand the pains of the victims and their families in this meeting. According to these activities as a pulling force, with the assistance of MHLW and the Ministry of Education, Culture, Sports Science and Technology (MEXT), “the counseling windows” were set up at the Health and Hygiene Department and the Education Department in 47 prefectures in Japan and the briefing for local governments was held on the 2nd of November. At the beginning of the opening speech at the briefing, the Chief of the Health Section of MHLW said, “We organized search parties to collect directly voices of the victims of high-school students and their guardians and went around the whole country from August to September. We felt strongly the importance of listening accurately to their voices of complaint and appeal, and necessity of setting up these windows.” And PMDA made a start on giving relief to the victims, correcting the difference of compensation between regular and optional vaccinations, and speeding up the relief application which had been suspended so far. Not all responses of the government are satisfactory but we can evaluate the positive attitude of empathy to the real condition of damage, which may be a certain evidence to support the crisis management of the government who has experienced many lawsuits over adverse drug reactions. On the other hand, it is an obvious fact that there are many families who have been suffering prolonged damages after the vaccination. We have various complaints from victim’s families, saying “My daughter has been going to school with desperate efforts, but she will have to leave school in a few days,” or “We have no other way than going on relief because the cost of treatment is only too high.”

Q: Response of the Mass Media and Pharmaceutical Companies

At the advent of HPV, the attitude of mass communications has a strong impression of unvarying support of it. But now, it also has a role to inform us of the risk of side effects

In the meanwhile, pharmaceutical companies, *GlaxoSmithKline K.K.* and *Merck Japan*, don’t lend their ears at all to complaints of the victims. Automobile companies, for example, will announce a recall once the problem is discovered in their cars, and the president may apologize in tears, summoned to the public hearings. But these drug makers take a cold-hearted attitude as if they were saying that they only sold drugs as much as possible and it’s none of their business. This attitude is irresponsible and arrogant, which makes the victims enraged. We submitted a written request to these two companies but unfortunately, we have not got a satisfactory response yet.